

---

**第 108 回松本歯科大学大学院セミナー**

**日 時:** 2006 年 1 月 20 日(金) 17 時 30 分~18 時 30 分

**場 所:** 実習館 2 階総合歯科医学研究所セミナールーム

**演 者:** 齋藤 正寛 氏 (神奈川歯科大学口腔治療学歯科保存学分野・講師)

**タイトル:** 歯根膜再生のメカニズム

歯周病は加齢と共に進行する炎症性疾患で、重度に進行したケースでは抜歯に伴う咀嚼障害を引き起こす。近年の歯周病再建療法の進歩により、3 壁性骨欠損を伴う歯周病は治療できるようになったが、水平性骨欠損を伴う重度の歯周病にはなす術がないのが現状である。このようなケースに対応するには歯周組織発生機構に基づく歯周病再生医療の開発が必須になる。そこで演者らは歯周組織発生機構を解明する目的で、歯周組織の発生起源である歯小囊細胞の培養システムの構築と、歯根膜発生に関わる機能分子の探索を試みてきた。これまで細胞不死化技術を応用して歯小囊細胞よりセメント芽細胞前駆体と歯根膜前駆体細胞の分離に成功し、これらの細胞を免疫不全マウスに皮下移植するとセメント芽細胞、歯根膜細胞あるいは骨芽細胞へ分化誘導できることを示した。また我々は新規細胞外マトリックス因子である ADAMTSL4 が歯根膜で高発現していることを見出し、さらに同分子が歯根膜の主要な弾性線維であるオキシタラン線維の形成を制御することも明らかにした。本セミナーでは、これらの知見を中心に歯根膜発生の分子メカニズムについて紹介する。

硬組織疾患制御再建学講座 中村 浩 彰